

CAMPUS PRESS

For all the students

発行
Fukuoka Institute of Technology
FIT 福岡工業大学
福岡工業大学 / 福岡工業大学短期大学部
〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1
TEL 092 (606) 0607 (圏) 広報課
(大学ホームページ) <http://www.fit.ac.jp/>
(短大ホームページ) <http://www.fit.ac.jp/jc/>

活発に行われる本学の国際交流 ~6カ国13大学と学術交流・姉妹校協定を締結~

■ 中央が田中さん



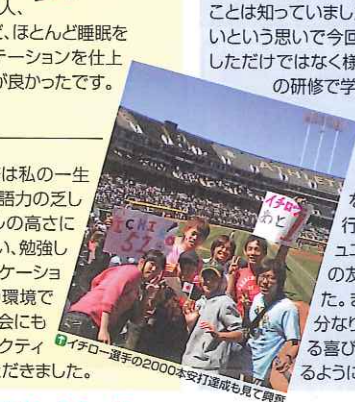
田中 裕梨さん
生命環境科学科3年(豊津高校出身)

韓国ではGlobal Issueの授業において、韓国の戦争博物館へ行ったりと、グループプレゼンテーションをしました。私のグループには英語を母国語とする人が一人もおらず大変でしたがそれがまた楽しかったです。グループのメンバーは私と韓国人、インドネシア人、中国人、ロシア人でした。プレゼンテーションのために3日間ほど、ほとんど睡眠をとらずに授業が終わったから何度も話し合いプレゼンテーションを仕上げました。時間が限られた中で協力し全力を出せたことが良かったです。



本郷 咲子さん
情報工学科3年(宗像高校出身)

17日間の韓国での語学研修は私の一生の思い出です。最初は自分の英語力の乏しさと他国の学生の英語のレベルの高さに圧倒され不安でしたが、話すことで英語を話したい、勉強したいと思うようになりました。周りや英語でしかコミュニケーションが取れないというのは英語を勉強するためには最高の環境でした。また、他国の文化に触れ日本のことを知るいい機会にもなりました。私はこの研修を終え、何事にも挑戦するアクティブな気持ちを持ってました。本当に良い体験をさせていただきました。



■ 中央が高原さん

高原 智彰さん
情報工学科3年(太宰府高校出身)

海外に行くのは初めてで少し行くことに対して恐怖心がありましたが、それ以上に向こうでの楽しいことを考え気持ちを切り替えて行きました。大学1年の頃からこのプログラムがあることは知っていましたが、3年生になり残り短い大学生活の中で何かしておきたいという思いで今回参加することにしました。この研修を通して英語力が向上しただけではなく様々な人との交流により自分自身も成長したと思います。この研修で学ぶことができた様々な事柄をこれからは役に立ていきます。



■ 中央が山崎さん

山崎 佳子さん
社会環境学科1年(認知県半田東高校出身)

私はこのプログラムで多くのことを学び、体験しました。初めて海外に行く私にとってアメリカの人々とコミュニケーションを取ることはとても困難でしたが、アメリカの人々の友好的な人柄のおかげで日に日に打ち解けることができました。また、大学内や出掛け先で出会った人々と触れ合うことで自分なりの思いの伝え方を見つけることができ、自分の思いが伝わる喜びを改めて感じました。この経験を将来に活かすことができるように、これからも努力していきたいと思っています。



交流を通じて親睦と理解を深めました

本学には、現在146名を越える外国人留学生が在籍しています。中国を中心とした学生で組織された留学生会では、会員相互の親睦・助け合い・情報交換を目的として、2ヶ月1回程度の茶話会の開催や今年度においては長崎のハウステンボスへの研修旅行を実施しました。

また、日本人学生との交流も積極的に行い、夏季休暇期間には留学生が生活する国際交流会館にて交流合宿をし、双方の文化、言葉を体感するなど親睦を深めています。

北華大学日本語センター(中国)
国際交流会館夏季文化交流合宿

平成21年9月12日(土)・13日(日)
国際交流会館

平成21年度留学生会研修旅行

平成21年9月24日(木)・25日(金)
ハウステンボス、雲仙



国際交流会館をバックに記念撮影

ハウステンボスにて

コンソーシアム・福岡 市民公開講座 全5回シリーズが盛況!

コンソーシアム・福岡では、一般市民を対象に、福岡都市圏が抱える環境問題を紹介し、問題提起を行う公開講座を5回シリーズで開催しています。過去4回の講座は盛況で多くの方が参加しました。日程/講演内容

- 第1回 9月30日 電気自動車への期待と課題 一地球環境時代の自動車と福岡一
- 第2回 10月14日 環境ビジネスと地球温暖化 一福岡における環境ビジネスの特徴と最新動向一
- 第3回 10月28日 海と地球環境問題 一玄界灘沿岸域の環境保全と開発一
- 第4回 11月7日 東アジアの大気汚染と地球温暖化 一中国・韓国と北部九州一
- 第5回 11月30日 地球環境問題と環境教育 一地域における継続的意識改革のあり方一

第5回参加希望者はお名前・住所・TEL・FAX・E-Mailを明記のうえ右記へ申し込みください。

第5回 11月30日 13:30▶16:10

会場 アクロス福岡 4F 国際会議場
〒810-0001 福岡市中央区天神1-1-1 TEL:092-725-9111 (代)

テーマ 「地球環境問題と環境教育」
一地域における継続的意識改革のあり方一

- 講演1 学校教育及び市民学習における環境教育 福岡工業大学/村元 久 教授
- 講演2 生態学的消費生活と人間形成 西宮学院大学/西野 将子 教授
- 講演3 福岡県における地球温暖化対策の総合的普及啓発 福岡県環境政策推進課/藤田 隆雄 課長

申し込み先
はがき 〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1
国公立大コンソーシアム・福岡 福岡工業大学オフィス 宛
TEL 092-606-7430 FAX 092-606-7445 E-mail conso@fit.ac.jp

事務職員米国研修 (FASTプログラム)

一カリフォルニア州立大学 イーストベイ校 (CSUEB) 一

このプログラムは、人材育成の観点から、次世代の大学改革を担う事務職員による研修チームを編成し、FITと姉妹校の関係にあり、アメリカの厳しい環境の中で大学改革を成功させているカリフォルニア州立大学イーストベイ校 (CSUEB) へ派遣するもので、両大学職員が知見を共有する場として平成21年6月にスタートしました。

研修チームは各3~4名ずつで編成され、それぞれブランディング、経営システム、学生支援システム、企業連携と財務システムという主要テーマのもと、各チーム2ヶ月程度の研修期間を基本に、現在は学生支援システムチームが研修に臨んでいます。

FASTプログラム研修内容 (FIT Administration Staff Training Program)

チームA	Branding ブランディング	CSUEBにおける入学/編入学生の特性分析手法 ターゲットとなるステークホルダーへのアプローチ手法 大学個性 (University Identity) 再構築に向けたブランディング浸透手法
チームB	Academic Plan 経営システム	新規プロジェクトに対応するベストプラクティス思考 学内システムインフラ (Black-board/REPLAY system) 学内ガバナンス
チームC	Student Services 学生支援システム	CSUEBにおけるFaculty Developmentに関する情報 授業プログラム改善のプロセス (2年目以降は、教職員連合チームとして再構築予定) インターンシップを取り入れた工学教育の現状と展開事例 インターンシップ制度で成功するミッション州立大学を訪問予定
チームD	External Relationship 企業連携と財務システム	総務と地元企業経営トップのラウンドテーブルを活用した、地元企業との連携やスポンサーシップ制度 入口/出口戦略をサポートするCSUEBの財務体質強化施策